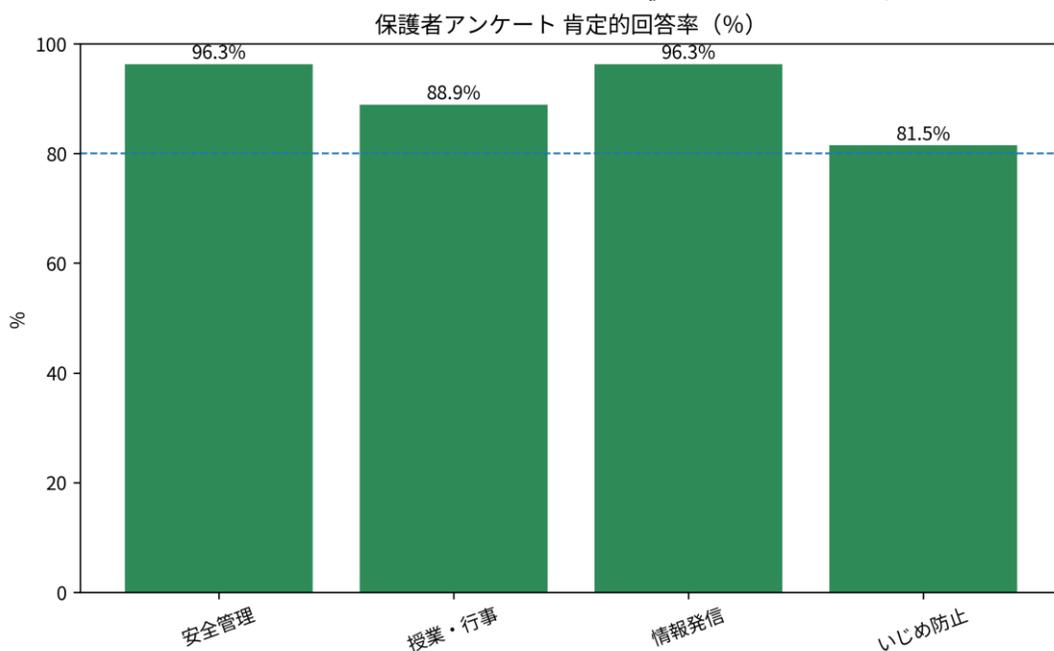
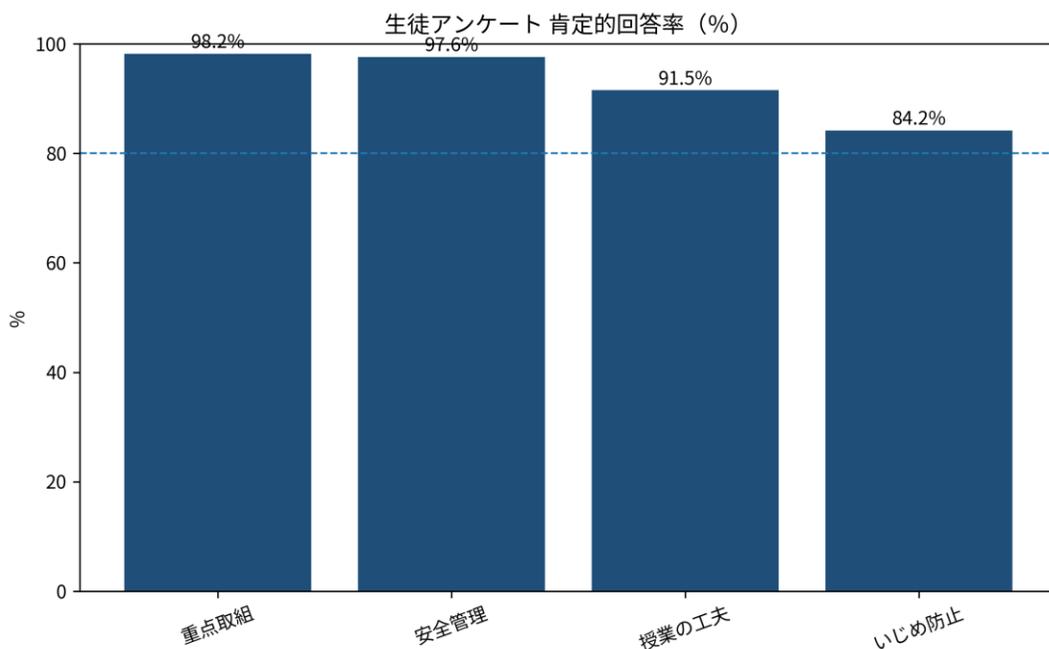


令和7年度2学期 学校評価アンケート分析（概要版）

1. 全体概要

本校では2学期に生徒および保護者を対象とした学校評価アンケートを実施しました。肯定的回答（「あてはまる」「ややあてはまる」）の割合は、多くの項目で80%を超え、教育活動への一定の評価をいただきました。



2. 成果として評価できる点

(1) 安心・安全への取組

生徒 97.6%、保護者 96.3%が安全管理への取組を評価しており、避難訓練や生活指導の継続的な実践が信頼につながっています。

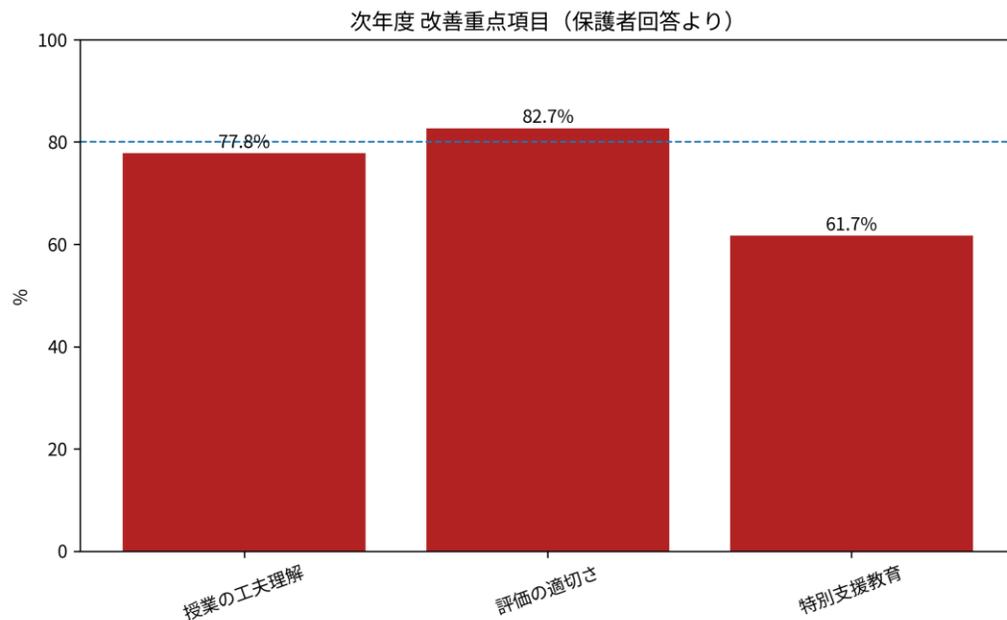
(2) 重点教育活動の推進

生徒 98.2%が本校重点取組の実施を肯定しており、読書活動、地域学習、補充学習等が着実に定着しています。

(3) 情報発信

保護者 96.3%が学校だより・ホームページによる情報提供を評価しており、発信の継続が信頼関係構築に寄与しています。

3. 課題として明確になった点



(1) いじめ防止へのさらなる信頼向上

生徒 84.2%、保護者 81.5%と一定の評価はあるものの、更なる安心感の醸成が必要です。

(2) 授業改善・評価の透明性

保護者の授業工夫理解 77.8%、評価の適切さ 82.7%と、学力向上に向けた授業改善と評価基準の可視化が求められます。

(3) 特別支援教育の理解促進

保護者 61.7%と最も低い数値となりました。取組の周知や説明機会の充実が必要です。

4. 次年度に向けた重点施策

- ・学力向上プロジェクトの強化（家庭学習の習慣化・補充学習体系化）
- ・いじめ防止体制の可視化（相談体制の明確化・早期対応強化）
- ・特別支援教育の見える化（支援体制の説明・情報発信強化）

5. 次年度への決意

80%を超える評価に満足することなく、残る課題に組織的に取り組みます。

「学力向上」「安心の深化」「支援の見える化」を柱に、保護者・地域とともに信頼される学校づくりを推進してまいります。

